

都民ファーストの会 東京都議団

都議会議員 (小平市選挙区)

佐野いくお



PROFILE

1956年小平生まれ。都立三鷹高校、明治大学卒。カリフォルニア州立ポリテクニク大学大学院(環境デザイン学部)卒。民間建設コンサルタント会社等を経て、2003年小平市議会議員選挙に初当選(連続4期)、第21代小平市議会議長。2017年東京都議会議員初当選。技術士(建設部門)、保護司。

東京都議会平成30年第1回定例会(中間報告)

平成30年第一回定例会は2月21日から3月29日まで37日の会期で開催され、代表質問、一般質問、知事提出議案、議員提出議案、陳情などの審査が行われます。今回の定例会は、なんといっても今年の予算を決める重要な議会です。一般会計ほか16の特別会計と11の公営企業会計の総額は14兆4440億円。新規事業は過去最高の407件にのぼります。その他、条例議案など合わせて120件の議案が上程されました。

平成29年度一般会計決算補正予算ほか契約議案など22件を可決!(3月8日中途議決)

3月8日の本会議で平成29年度補正予算4件、条例制定や改正など条例議案2件、工事請負契約など契約議案15件、諮問1件を可決しました。

本会議の一般質問で初登壇



●本会議で一般質問を行う佐野いくお都議

① 再犯防止推進計画の策定と地域の保護司との連携を

犯罪件数は減少し、再犯が半数を占めることから、国は「再犯防止推進法」で再犯防止計画策定を求めています。都の取組み状況、地域の保護司の活動支援や社会を明るくする運動の推進について質問しました。

知事答弁 来年度、計画策定のための検討会を立ち上げ、各分野の関係者から現場の実態や要望を伺いながら、再犯防止に向けた具体的な取組みの検討を進める。

② 小学校の校庭を芝生化し、思い切り遊べる教育環境整備を。

都の補助による公立小中学校の芝生化は、平成17年から始まり、あまり進んでいません。小平市では十三小1校のみです。運動専用の芝生は造園用芝生と管理が根本的に異なります。欧米諸国では当たり前の芝生化には、意識を変え、運動用芝生文化を育て上げる必要があります。区市町村任せでなく、都として先駆的に取組む確固たる理念と予算化が必要ではと質問しました。

教育長答弁 引き続き、区市町村教育委員会の整備方針に基づき、財政や技術など校庭芝生化を支援し、子どもたちの良好な教育環境の確保に努める。



●思い切り遊べる芝生の校庭(小平十三小)

③ 青梅街道駅前の踏切を拡幅し安全確保を

青梅街道と多摩湖線が交差する踏切は、歩道幅員が狭く、人が多い時間帯は、踏切待ちの歩行者等と車両が錯綜する状況が生じており、改善措置を講ずる必要があります。都の現状認識と今後の取組みについて質問しました。

建設局長答弁 鉄道事業者に対し遮断機の移設を要請するとともに、引き続き、駅舎の建替への機会を捉え、踏切道の拡幅に努めていく。



●青梅街道駅前の改善が必要な狭い踏切

④ 小川駅西口、小平駅北口再開発に支援を

小平市では小川駅西口地区と小平駅北口地区で再開発事業の検討中です。この地区内には都道もあり、都の関係局の横断的な協力と財政的、人的、技術的支援が必要です。都としてどう支援していくのか質問しました。

東京都技監答弁 地元市で初の再開発であるため、都は人事交流を通じてノウハウの提供、来年度からは財政的支援も行う予定である。



●再開発が予定される小川駅西口地区

東京都議会HP(<http://www.gikai.metro.tokyo.jp/>)で詳しく確認することができます。

都民ファーストの会 東京都議団

都議会議員 (小平市選挙区)

佐野いくお



PROFILE

1956年小平生まれ。都立三鷹高校、明治大学卒。カリフォルニア州立ポリテクニク大学大学院(環境デザイン学部)卒。民間建設コンサルタント会社等を経て、2003年小平市議会議員選挙に初当選(連続4期)、第21代小平市議会議長。2017年東京都議会議員初当選。技術士(建設部門)、保護司。

東京都議会平成30年第1回定例会(中間報告)

平成30年第一回定例会は2月21日から3月29日まで37日の会期で開催され、代表質問、一般質問、知事提出議案、議員提出議案、陳情などの審査が行われます。今回の定例会は、なんといっても今年の予算を決める重要な議会です。一般会計ほか16の特別会計と11の公営企業会計の総額は14兆4440億円。新規事業は過去最高の407件にのぼります。その他、条例議案など合わせて120件の議案が上程されました。

平成29年度一般会計決算補正予算ほか契約議案など22件を可決!(3月8日中途議決)

3月8日の本会議で平成29年度補正予算4件、条例制定や改正など条例議案2件、工事請負契約など契約議案15件、諮問1件を可決しました。

本会議の一般質問で初登壇



●本会議で一般質問を行う佐野いくお都議

① 再犯防止推進計画の策定と地域の保護司との連携を

犯罪件数は減少し、再犯が半数を占めることから、国は「再犯防止推進法」で再犯防止計画策定を求めています。都の取組み状況、地域の保護司の活動支援や社会を明るくする運動の推進について質問しました。

知事答弁 来年度、計画策定のための検討会を立ち上げ、各分野の関係者から現場の実態や要望を伺いながら、再犯防止に向けた具体的な取組みの検討を進める。

② 小学校の校庭を芝生化し、思い切り遊べる教育環境整備を。

都の補助による公立小中学校の芝生化は、平成17年から始まり、あまり進んでいません。小平市では十三小1校のみです。運動専用の芝生は造園用芝生と管理が根本的に異なります。欧米諸国では当たり前の芝生化には、意識を変え、運動用芝生文化を育て上げる必要があります。区市町村任せでなく、都として先駆的に取組む確固たる理念と予算化が必要ではと質問しました。

教育長答弁 引き続き、区市町村教育委員会の整備方針に基づき、財政や技術など校庭芝生化を支援し、子どもたちの良好な教育環境の確保に努める。



●思い切り遊べる芝生の校庭(小平十三小)

③ 青梅街道駅前の踏切を拡幅し安全確保を

青梅街道と多摩湖線が交差する踏切は、歩道幅員が狭く、人が多い時間帯は、踏切待ちの歩行者等と車両が錯綜する状況が生じており、改善措置を講ずる必要があります。都の現状認識と今後の取組みについて質問しました。

建設局長答弁 鉄道事業者に対し遮断機の移設を要請するとともに、引き続き、駅舎の建替への機会を捉え、踏切道の拡幅に努めていく。



●青梅街道駅前の改善が必要な狭い踏切

④ 小川駅西口、小平駅北口再開発に支援を

小平市では小川駅西口地区と小平駅北口地区で再開発事業の検討中です。この地区内には都道もあり、都の関係局の横断的な協力と財政的、人的、技術的支援が必要です。都としてどう支援していくのか質問しました。

東京都技監答弁 地元市で初の再開発であるため、都は人事交流を通じてノウハウの提供、来年度からは財政的支援も行う予定である。



●再開発が予定される小川駅西口地区

東京都議会HP (<http://www.gikai.metro.tokyo.jp/>) で詳しく確認することができます。

平成30年度東京都予算(案)の概要

将来を見据えて財政の健全化を堅持しつつ、東京2020大会の成功とその先の未来に向けて、都政に課せられた使命を確実に果たしていく予算

Point 1

予算づくりの3つの方針とは？

セーフシティ、ダイバーシティ、スマートシティの3つのシティを実現する。

都民ファーストの視点で無駄を徹底的に取り除き、賢い支出をする。

東京五輪の開催準備にかかる取組みを着実かつ効果的に推進する。

Point 2

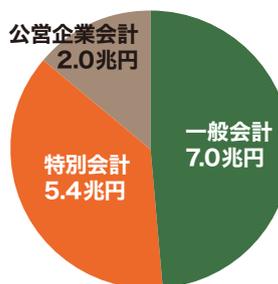
予算はどうやって決まるの？

時期	内容	議会、議員に求められること
8~9月	各局が予算案を検討	都職員や地域住民、業界団体等の声を聴き、調査をする力、前年度の決算を分析する力、実現すべき政策を立案する力が必要です。
~11月	財務局が予算案を精査	
12月	議会各会派の予算要望	都の政策の方向性が間違いないか、お金が正しく使われるか、質疑を通じてチェックし、判断する力が必要です。
1月	知事の査定	
1月下旬	予算案の公表	
2~3月	議会第1回定例会に上程	
3月中旬	予算特別委員会で審議	
3月下旬	議決(予算成立)	

Point 3

都の予算はどのくらいなの？

東京都の予算は、14.4兆円で、スウェーデンの国家予算を超える金額です。これは小平市の予算(1,031億円)のおよそ140倍です。



一般会計

税金をもとに福祉や防災対策など行政サービスに使うお金

特別会計

都営住宅の管理など特定の目的に使うお金

公営企業会計

上下水道など自治体が経営するお財布

Point 4

お金は何にどのくらい使われるの？ 一般会計予算の使いみち(分野別割合)

	福祉と保健 少子高齢化対策など	教育と文化 学校教育の充実など	労働と経済 中小企業振興など	生活環境 スマートエネルギーなど	都市の整備 道路、河川整備など	警察と消防 警察、消防活動など	企画・総務	公債費 借入金返済など	区市町村への交付金など	合計
平成30年度	1兆2,048億円	1兆1,270億円	4,649億円	1,961億円	8,839億円	9,087億円	3,968億円	4,320億円	1兆4,319億円	7兆460億円
全体の割合	17%	16%	6%	3%	13%	13%	6%	6%	20%	100%
都民一人当たり	8.8万円	8.2万円	3.4万円	1.4万円	6.4万円	6.6万円	2.9万円	3.1万円	10.4万円	51.2万円

都予算の中の小平市関係(主要事業の予算)は約54億円 東京都ホームページ:財務局「区市町村別主要事業」より引用

区分	金額(合計53億8900万円)	主要事業及び金額	(単位:百万円)
都市整備局	9300万円	土地区画整理事業助成48(小川4番)、市街地再開発事業助成35(小川駅西口)、国土調査10(1地区)	
環境局	700万円	大気監視システムの管理運営7	
福祉保健局	12億600万円	特別養護老人ホーム753(豊仁会外2件)、多摩小平保健所の整備144、公立昭和病院整備事業費償還補助109、小平児童相談所空調改修工事77、グループホーム・ファミリーホーム設置促進事業35、児童館等整備費補助29(五小児童クラブ第二外2件)、障害者通所施設26(あいの社)、周産期医療施設等整備費補助15、休日夜間急患センター施設整備費補助3、医療施設耐震化緊急対策事業2、児童養護施設2、医療施設防火対策緊急整備事業0.3	
産業労働局	6200万円	農地の創出、保全及び都市農業振興27、東京都地域人材確保・育成支援事業18、シルバー人材センター助成12、東京障害者職業能力開発校施設整備3、区市町村農業委員会交付金等2、国有農地管理0.1	
建設局	30億9000万円	街路事業1,811(小平3・2・8号)、歩道の整備478(小平停車場野中新田線外1か所)、道路事業253(立川所沢線外2路線)、路面補修180(青梅街道外2か所)、第3次交差点すいすいプラン152(五日市街道外1か所)、公園整備122(小金井公園)、小平霊園葬儀所整備61、無電柱化の推進17(野中新田線)、土木補助16(市道B-53号ほか)	
東京消防庁	2億400万円	小平消防署冷暖房設備改修、外壁改修99、花小金井出張所改修49、照明LED化37、救急車1台14、査察広報車2台7	
下水道局	7億2700万円	建設改良事業727(北多摩一号処理区内の下水道施設等)	

都民の税金が奪われる!



国の税制改正によって、都税である地方消費税が新たに約1000億円も国から徴収されることが決定しました。法人住民税でも徴収額が拡大されます。その額はなんと30年間で約6兆円。都は徹底して事業評価を行い、無駄を省きながら、歳出削減に努めています。都民が納めた税金が、都民のために使われないこの不公平な制度に対し、国に抗議をしているところです。

連絡先

佐野 いくお事務所

〒187-0043 小平市学園東町1-10-30 ハーモニー橋学園

TEL・FAX 042-308-7303

Mail isano@jcom.home.ne.jp

都議会、都政へのご意見、ご要望をお聞かせください。

